

「金融機関業務研修会」を開催しました

県内に本店のある金融機関（秋田銀行、北都銀行、秋田信用金庫、羽後信用金庫、秋田県信用組合）の融資担当者などを対象に、期中管理業務や経営支援の理解を一層深めてもらうことを目的として、平成26年10月8日（水）に「金融機関業務研修会」を開催しました。

様々な事例に基づいたグループワークでは活発な議論がなされ、参加者からは「もっと深く学んでみたい」との感想をいただきました。

参加者 金融機関 31名 当協会 8名 研修会内容

1. 経営支援・再生支援の取組手法
講師 当協会経営支援部経営支援課
2. 県内事業承継の課題と金融機関の役割
講師 秋田県事業引継ぎ支援センター
3. 期中管理事務の留意点と
代位弁済案件の検証
講師 当協会管理部管理第一課



（秋田県事業引継ぎ支援センター統括責任者河田氏の話に熱心に聴く参加者）

☆秋田県事業引継ぎ支援センターについて

当センターは「産業競争力強化法」に基づき、秋田商工会議所が国から委託を受けて実施している事業です。

近年、中小企業の経営者の高齢化、後継者不在による事業承継問題が深刻化しており、将来の事業存続に課題や悩みを抱える企業が多くなっています。こうした事業承継問題を先送りし、特段の対策を行わないまま経営を続けた結果、産業・雇用喪失といった社会的・経済的損失が発生しています。そこで国が「事業引継ぎ」を支援する機関を設立し円滑な事業のバトンタッチをサポートし、次世代への経営資源のスムーズな承継を促進しようとするものです。

（同センターリーフレットより）

◆参加者アンケート

- ・経営支援・再生支援についてはもっと理解を深めてお客様への対応に活かしていきたい。
- ・他金融機関との交流ができ、様々な意見が聞けて良かった。
- ・秋田の地域金融機関としての立場や役割を改めて認識できた。
- ・代位弁済等の管理業務も、対応を一つ一つ確認した上で厳格に取扱しなくてはならないと感じた。